

行政監査結果報告書

第1 監査を実施した監査委員名

倉本繁八

林 徳秋

第2 監査の種類

行政監査

第3 監査の概要

1 監査のテーマ

防災資機材及び備蓄品の管理について

2 監査の目的

平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、東北地方に未曾有の被害が発生しました。近年、大きな災害が国内各所で発生しており、大地震、大雨による洪水、土砂災害など自然災害はいつ、どのような形で本市に影響を及ぼすかわかりません。

この地域でも以前から大震災の発生が危惧されており、災害による被害を少しでも減らせるように様々な方策を講じていくことは行政としての責務であります。

本市においては「地域防災計画」を定め、被害を最小限にするために必要な防災・減災対策に取り組んでおります。

今年度、災害対策として防災マップを作成し、市民に配布されました。災害が発生した場合、避難所の開設とともに防災資機材や食糧及び生活用品を確保することは災害対策において極めて重要な事項であり、計画的に整備し、的確に管理することが必要です。

このため、防災資機材及び備蓄品（以下「資機材等」という。）が適切に整備、管理されているか、あるいは供給体制は整理されているか等を検証し、防災対策に係る事務事業の適正な執行を促し、もって市民サービスの向上に資することを目的として、監査を行うこととしました。

3 監査の実施期間

平成27年1月27日から平成27年2月26日まで

4 監査の対象とした部課等

協働部防災安全課

5 監査の対象とした事項及び範囲

市が管理している資機材等の整備及び保管に係る事務事業及び拠点的な防災倉庫、生活用品等の備蓄があり、避難所生活を送ることができる広域避難場所の避難所資機材倉庫に配置されている資機材等の整備、保管状況。

6 監査の着眼点及び実施方法

資機材等について、適切な整備計画となっているか、整備計画に定められたとおり計画的に整備されているか、また、その管理は的確に行われているかなど、資機材等の整備及び管理について、経済性、効率性及び有効性が図られたものとなっているかを主眼とし、以下の事項に着眼して、監査の対象とした部課から提出された監査資料に基づき、関係職員の説明を徴取するとともに、資機材等の保管状況について、現場監査を実施しました。

(1) 資機材等の整備計画は、適正な計画となっているか。

- ① 備蓄品等は必要十分な品目となっているか。
- ② 適正な根拠による数量の算出がされているか。

(2) 資機材等の整備計画に基づき、備蓄品目、備蓄数量は整備されているか。

- ① 資機材等は必要十分な品目が整備されているか。
- ② 備蓄数量は計画どおり整備されているか。

(3) 各防災倉庫等における資機材等は、適正に管理されているか。

- ① 数量管理は適切に行われているか。
- ② 機能、品質等は保持されているか。
- ③ 期限を迎えた資機材等の処分は適切か。

(4) 資機材等の保管場所は適切に管理されているか。

(5) 資機材等の搬出、供給体制は適切か。

(6) 資機材等の保管箇所について、関係者や市民への周知は図られているか。

(7) 各家庭における資機材等の準備、必要性について、市民へ周知徹底されているか。

第4 監査の結果

1 資機材等の整備計画及び整備状況

(1) 整備計画

資機材等の整備については、年次計画を立て、計画的に整備されてきました。

防災資機材、生活用品については、避難所生活、救助活動等に必要なものを使いやすさ、収納スペースなどを勘案したうえで選定し、計画的に整備が進められてきました。

また、食糧品は、大規模災害時の想定避難者数を基礎数字として必要数の備蓄を行うよう計画されており、5年間保存が可能なものを基本として整備し、5年ごとに更新していくよう計画されてきました。

なお、整備計画については、今年度、地域防災計画の全面改訂を行うため、資機材等の整備計画も整合性をとるよう見直しを図っていくこととしています。

(2) 整備状況

資機材等の整備状況は、平成27年2月1日現在で防災資機材集計表（以下「集計表」という。）としてまとめられていました。

平成27年2月1日現在の整備状況は、防災資機材が、整備計画76品目中72品目について、充足率92.0%であり、生活用品は17品目全て整備済みであり充足率として97.7%となっています。また、食糧品の7品目は整備済みですが、充足率としては、34.7%となっています。これは、今年度、愛知県による避難想定者数の見直しがされたこと、また、備蓄量についても3日間分の備蓄から5日間の備蓄へと見直したことによるもので、平成27年度より計画的に整備していくよう予定されています。なお、品目については、缶詰のパン、五目御飯等そのまま主食となるようなものを選定し、アレルギー対応も考慮されました。

また、賞味期限切れとなる食糧品については、防災訓練、炊き出し訓練等に提供し、廃棄処分することがないよう考慮されています。

・ 資機材等整備状況

	防災資機材		食糧品		生活用品	
	品目数	数量	品目数	数量	品目数	数量
計画数値	76	55,194	7	50,600	17	12,989
実績数	72	50,771	7	17,544	17	12,689
充足率		92.0%		34.7%		97.7%

2 資機材等の保管状況

資機材等の保管については、拠点となる市防災倉庫、環境防災センターをはじめ、小学校区を基本に、広域避難所となる各小中学校に資機材倉庫を設置するなど市内20箇所にて保管されていました。また、保管する資機材等については、適材配置を考慮したうえで保管しているとのことでした。

・ 資機材等保管箇所

校区単位	保管箇所	箇所数
中部小学校区	市防災倉庫、環境防災センター、三好中学校、中部小学校	4
北部小学校区	北部小学校、水防倉庫	2
南部小学校区	南中学校、南部小学校、南部コミュニティ	3
天王小学校区	天王小学校、総合体育館、三好高校、土地改良区	4
三吉小学校区	三吉小学校、サンアート	2
三好丘小学校区	三好丘中学校、三好丘小学校	2
緑丘小学校区	北中学校、緑丘小学校	2
黒笹小学校区	黒笹小学校	1
	総計	20

現場監査では、拠点となる防災倉庫、環境防災センター及び食糧品等が保管されている各中学校の避難所資機材倉庫を選定し、実施しました。

(1) 市防災倉庫

市防災倉庫は市庁舎駐車場の公用車車庫の一面にあり、「市防災倉庫」の看板が掲出されていました。また、出入口付近に資機材等の保管状況を示した一覧表が貼付されていました。さらに、資機材等が保管されている棚には品目、数量、実数が記入されおり、保管状況が確認できるようになっていました。なお、倉庫内の一部には、消防関係の資機材が混在していました。

調査当日は、資機材等の一部に集計表と実数が一致していないものがありました。また、大型の発電機、ハソリについては、防災倉庫に収納できないため、隣接のバス車庫に収納されており、誘導棒は、庁舎内第7倉庫に保管されていました。さらに、水中ポンプについては、他の施設に貸し出されている状況でした。

(2) 環境防災センター

環境防災センターは、旧病院の病棟を利用して設置されています。建物の出入口に、「環境防災センター」の看板が掲出されていました。また、保管箇所の出

入口付近に資機材等の保管状況を示した一覧表が貼付されていました。なお、生活用品の一部は別室に保管されていましたが、そこには照明設備がありませんでした。また、保管されている棚の前に、他が所管する折りたたみ式テントが置かれており、在庫確認や搬出の際に、支障をきたしている状況でした。

食糧品は、棚に年度ごとに分別し保管されていました。在庫の中には、賞味期限が2015年2月となっており、賞味期限が間近に迫っているものが保管されていました。

なお、環境防災センターは、耐震化が未実施とのことであり、保管箇所は1階建部分に整備されていましたが、地震による被害が心配されます。保管状況も踏まえ、検討が必要と考えます。

(3) 中学校に設置された避難所資機材倉庫

避難所資機材倉庫については、三好中学校は校舎空教室に、南中学校は武道場の倉庫に、北中学校は校舎の1画に、「避難所資機材倉庫」の看板を掲出し、配置されていました。三好丘中学校は、プール横に整備された倉庫に配置されていましたが、避難所資機材倉庫を示す看板は設置されていませんでした。また、各学校の保管箇所の出入口付近には資機材等の保管状況を示した一覧表が貼付されていました。

なお、南中学校は、倉庫が狭いため、出入口まで資機材等が保管されており、奥の資機材の数量の確認が困難な状況でした。また、三好丘中学校では、雨水の侵入と考えられる資機材等を梱包した箱の一部が濡れた跡がありました。漏水によるものではなく吹き込んだ雨で浸水したものとのことであり、現在は、箕子でかさ上げして対応されていました。また、三好中学校、北中学校においては、倉庫の一部に学校の物品が混在していました。

配備された資機材等は棚等を利用し、整理して保管されていましたが、一部の資機材等について、集計表と実数が違っている状況が見受けられました。特に、北中学校では、発電機、コードリール、チェーンソーの存在が確認できませんでした。

食糧品については、学校ごとに年度を別にして管理されていました。この中で、北中学校の食糧品については、賞味期限が2015年2月となっており、賞味期

限が間近に迫っているものが保管されていました。

3 まとめ

監査の結果、資機材等の保管箇所の一部に資機材等以外の物品が混在していたり、逆に、資機材等の一部が他の場所に保管されている事例がありました。また、保管箇所が狭く、一部の備蓄品は他の資機材等を取り出さないと確認できない状況も見受けられました。災害発生時に必要となる資機材等が速やかに搬出できないことが想定され、今後、食糧品備蓄の増加などにより保管箇所が手狭になることも懸念されますので、適切に保管箇所を確保するよう努めていただきたい。

資機材等については、集計表と現品の数量が一致していない品目、確認できない資機材等がある箇所がありました。全般的には、大きな差異はありませんでした。しかしながら、所在を確認できなかった資機材等の中には、備品に相当するものも含まれておりの確に保管する必要があります。災害時に迅速、かつ、効率的に活用できるよう、適宜、棚卸しによる在庫管理を行い、適切な管理に努めていただきたい。また、使用後は速やかに返却できるよう資機材等に保管箇所を示しておくなど確実に保管できるよう検討していただきたい。

なお、食糧品については、調査日現在において、賞味期限が間近に迫っているものがありました。入れ替えるための食糧品の、納品待ちの状態とのことでしたが、災害はいつ起こるかわかりません。賞味期限が切れる前に、確実に補填されるよう計画的な整備をお願いします。

また、賞味期限が切れるものは、事前に防災訓練、炊き出し訓練等に利用されているようですが、今後も有効活用するよう図っていただきたい。

資機材等の保管状況



防 災 倉 庫



環 境 防 災 セ ン タ ー



三 好 中 学 校



南 中 学 校



北 中 学 校



三 好 丘 中 学 校